

## 分科会まちづくり協議のまとめ

【与板地域委員会第2分科会】

～みんなが 誇れるまち よいた～

まちなか散策マップ作成に向けての提案

<はじめに>

与板地域は、いにしえから育まれた歴史と文化、信濃川や西山丘陵の里山などの豊かな自然、戦国・江戸時代から形成された城下町の町並みなど豊富な地域資源があります。大河ドラマ「天地人」が放映されたこともあり、地域には「まちの駅よいた」やまちづくり交付金事業で直江兼続公ゆかりの施設整備が行われるなど新しい資源も加わりました。

将来、まちが活性化するための共通の話題を検討した結果、まずは地域住民が自分たちの地域の良さを再認識し、まちをPRできることが望ましいと考えられる。そのため分科会の協議テーマを「みんなが 誇れるまち よいた」と決定しました。

<協議経過>

「誇れるまち」は何か、それを地域内外に情報発信し、具体化するには何が考えられるかについて協議を進める中で、天地人観光や与板十五夜まつり等も項目として挙げられました。

最終的には、目先のことや個別の項目にとらわれず、地域の将来を見据えて与板として発信できるものを検討した結果、河川公園及びまちなか散策、名所旧跡等の回遊性、その拠点となる「まちの駅」の活用が焦点となりました。

河川公園の現地視察や支所担当課からの説明を受け、まちづくりと地域活性化を図り地域内外に情報発信していく手段として、まちづくり交付金事業で作成する「まちなか散策マップ」が活用できることになり、マップの作成内容や活用方法について協議を行い提案を行うことになりました。

<提案要旨>

「天地人」の放映は、全国各地に与板地域をPRすることができたとともに地域住民にも地域の良さを再認識してもらった契機となりました。これを機に地域住民自らが地域のことを知ってもらい、自らが郷土を誇れるような環境づくり、地域外への情報発信、おもてなしができるまちづくりが望まれます。一方、与板を訪れる多くのお客様からは、与板の素晴らしさと感動を実感していただくとともに、オンリーワンの与板の魅力に気付いていただくことが求められます。

このようなまちづくりを行っていく手段の一つとして、住民に親しみやすく、与板の魅力や地域資源が十分に活かされ、訪れた人にも地域全体が一目でわかる「まちなか散策マップ」の作成が有効と考えられます。住民自らが郷土の良さを実感でき、与板の素晴らしさと感動を発見するために活用できるマップの作成について次のとおり提案します。

## < 詳細内容 >

### 1) マップの概要提案

まちづくり交付金事業で整備された遊歩道を中心に、街並みと河川公園を含めた回遊性を考慮し、地域全体を見わたすことができる総合的な散策マップ

地元はもちろんのこと、与板を訪れた人も利用でき、将来的にも継続して使用（増刷）できるオリジナルマップ

両面印刷1枚で簡単に折りたたみができ、まち歩き等でも携帯できる、広げて見やすいマップ（B1版程度の大きさでミウラ折りマップ等）

### 2) 掲載内容提案

散策マップ（表面）

- ・イラストマップとし、地域全体を表示する。
- ・全町内名を入れる。
- ・「城下町与板」を主眼におき、現在の道路に合わせて城下町時代の道を掲載する。（例：三国街道など）
- ・主要観光スポットを掲載する...イラスト掲載にするか写真掲載にするかは要検討。

ルートマップ（裏面）

- ・まちの回遊性を考慮し、スポットやテーマ毎に散策ルートを策定して、史跡や観光スポットを写真やイラストで紹介する。  
（例：良寛をめぐるコース、天地人ゆかりのコース、里山をめぐるコース、e t c）  
各コースとも距離、時間を掲載。観光スポットの紹介は散策マップとの掲載を加味する。
- ・地域イベントカレンダーの掲載。

### 3) その他提案意見

マップ掲載事項については有識者による実行委員会等で協議を行い、誤りのないものを作る。

イラストキャラクター等を小中学生から募集するなど、地域としても愛着を感じるものとする。

ルートマップについては小中学校からも散策コースとして取り入れてもらうなど地域内外の皆さんから活用してもらう。